



世界のAI利用状況

米中が技術と応用でリード、日本は導入で大きな課題 (2024-2025年)



主要統計データ

\$4,709億

米国の累計AI投資額
(~2024年)

95.8%

中国の企業AI導入率
(2024-2025年)

27.0%

日本の個人AI利用率
(2025年)

二強の戦略: アメリカ vs 中国

アメリカ: 技術革新型

民間大手テック企業が研究開発を牽引。基盤モデル開発で世界をリード。

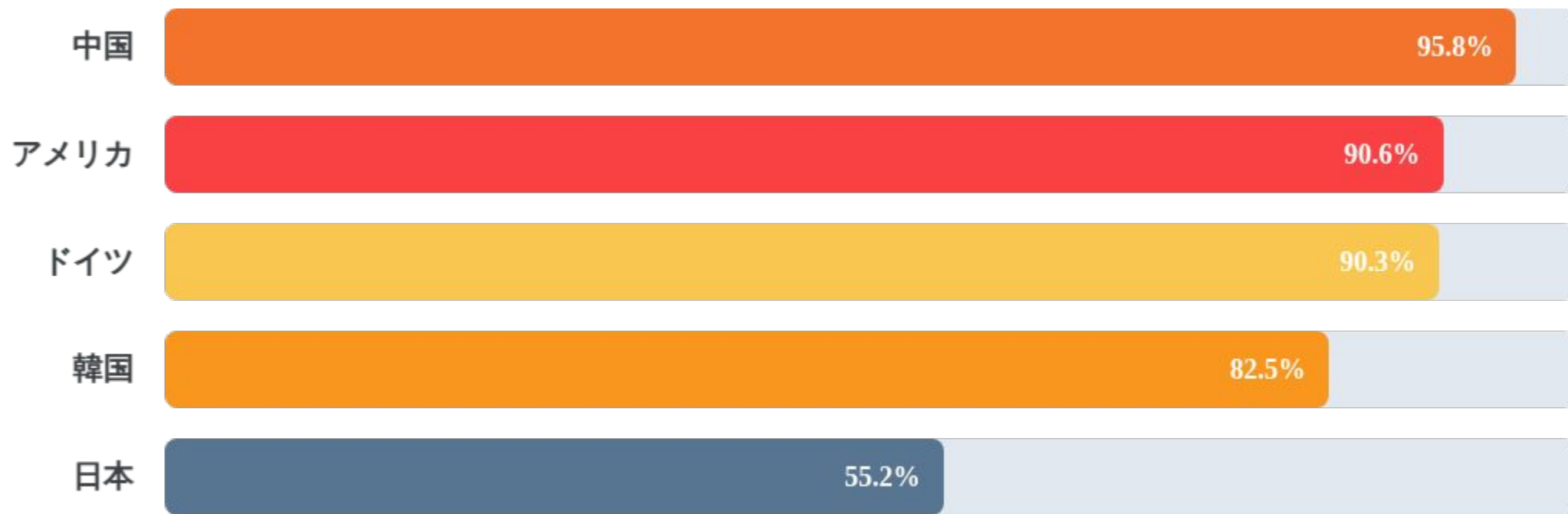
- 企業導入率: 90.6%
- 個人利用率: 68.8%

中国: 実践・応用型

国家主導による迅速な社会実装が強み。豊富なデータ量を活かし、応用分野で急速に成長。

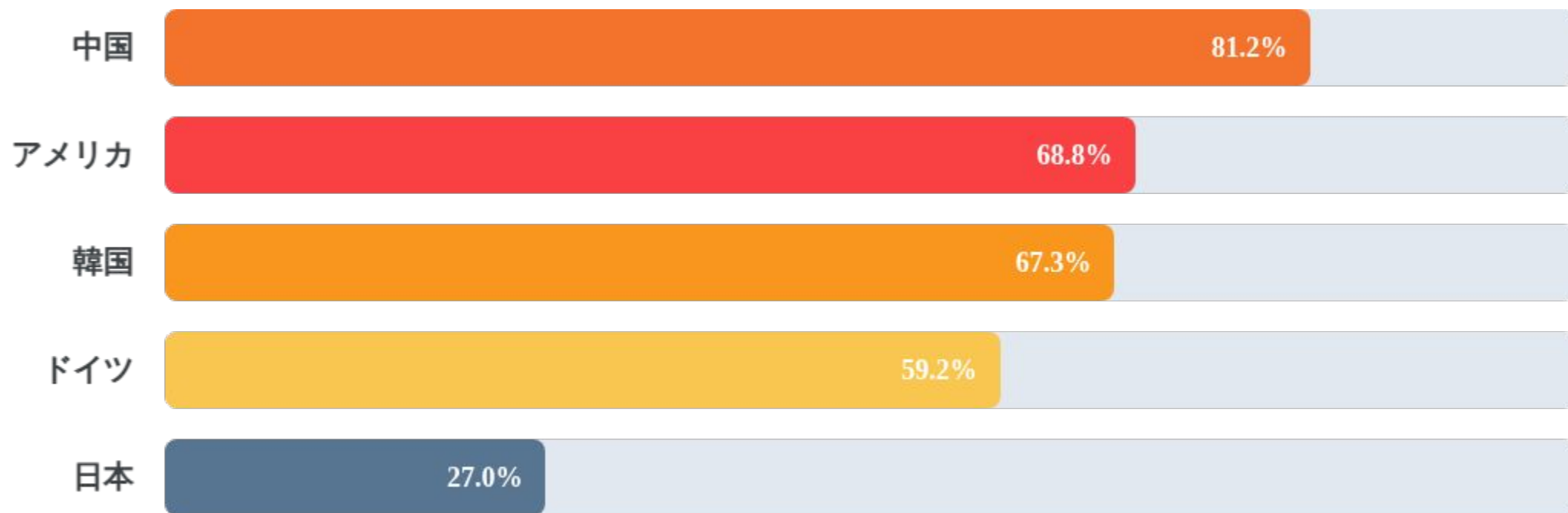
- 企業導入率: 95.8% (世界トップ)
- 個人利用率: 81.2% (世界トップ)

企業AI導入率 (2024-2025年)



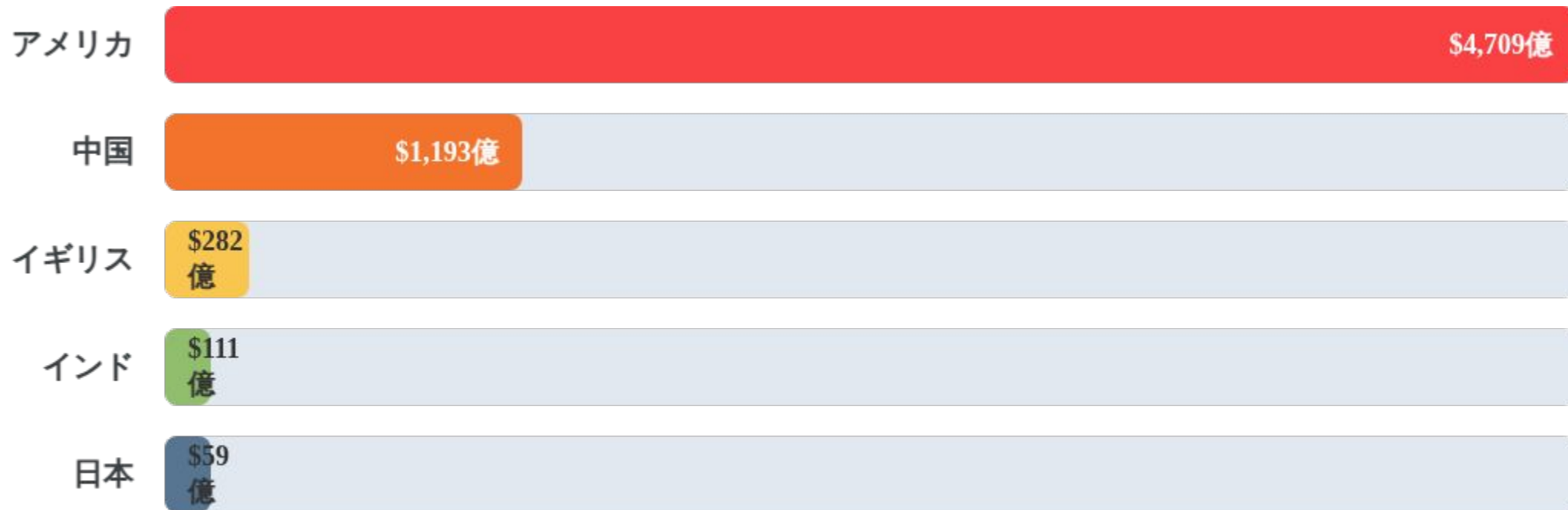
中国、米国、ドイツが90%超の高い導入率を示す一方、日本は主要国の中で顕著に低い水準にあります。

個人 生成AI利用率 (2025年)



個人の利用率でも中国が80%超でトップ。日本は27.0%と、国際的な差が大きくなっています。

累計AI投資額 (2013-2024年)



投資額では米国が圧倒的1位。日本の投資額は米国の約1.3%に留まります。



主要国の戦略的アプローチ



アメリカ

「技術革新」型。民間主導で基盤モデル開発をリード。圧倒的な投資力でイノベーションを創出。



中国

「実践・応用」型。国家主導で社会実装を加速。豊富なデータを武器に、応用分野で世界を席巻。



欧州・日本

欧州は「倫理・規制」型で先行。日本は「課題認識」型で大きく遅れ、社会全体の意識改革が急務。



結論：日本の喫緊の課題

世界は「米・中」の二強構図が鮮明です。日本は、企業・個人ともにAIの導入・活用で大きく出遅れており、AIの重要性に対する社会全体の認識向上と、官民一体となった投資・人材育成が急務となっています。

データ出典: 2024-2025年 各種AIインデックスレポートに基づく